

金山道迷い(2024年4月)

登山道のマーキングに従って進むと途中で道が無くなった。地図を確認し道に戻って事なきを得た。



解説

この看板で、実は登山道が2本に分かれている(山と高原地図やヤマレコでは、一本道になっているが)。右端に登山道を示す黄色いペイントがある一方で、左方向にも登山道のマークがある。自分は左側のマーキングについて行ったところ、途中で道が消えてしまっていた。(HP参照)

マーキングがあり、道は沢沿いを登ってきたのでそのまま進んでしまった事例。事前に地図の先読みで、チェックポイントを押さえておかないと、マーキングに頼って道を間違えてしまう可能性は大きい。

登りの沢の登山道の場合に多い事例。逆に尾根を登っていると道を間違えることは少ない。

尾根上の道では、登りでは道は収束し、下りでは拡散して道迷いが多い。逆に沢の道の場合、登りでは拡散し道迷いが多く、下りでは収束するため道迷いは少ないと一般的に言われている。

しかし、一般論なので、地図の先読みをしないと道に迷ってしまうことは言うまでもないので、注意が必要である。